

防災マニュアル

1 まず、身の安全第一！

机の下などに身をかくし頭を保護する。

家具類などの転倒・移動防止対策をしておくことが肝心です。

2 慌てず騒がず火の始末！

火が出たらすばやく消火。

火元付近に燃えやすいものは置かない。

3 戸を開けて、出口を確保！

住宅では出口の確保が重要。

逃げ口を失ったら避難ができない。

4 慌てて外に飛び出さな！

あわてず落ち着いた行動を。

逃げるときは瓦やガラス、看板などの落下に注意してください。

5 山崩れ、崖崩れ、津波に注意！

東日本大震災では津波が大災害を招いた。居住地の自然環境をよく知っておくことが二次災害防止には大切です。

6 避難は徒歩（自転車可）で、荷物は最小限に！

東日本大震災においても自動車での避難は渋滞が発生し、多くの被害者が出ております。避難先までは複数の手段を。動きやすいように荷物は必要最小限の物だけ。

なお、オートバイについては交通事故等多くの危険性が伴いますので、できれば避けたほうがよいでしょう。

7 協力し合って応急救護！

多数の負傷者が出れば病院などでの手当てにも限界が。協力しての応急救護が大切です。

8 正しい情報を聞く！

ラジオ・消防・警察・市町村役場などから開設している避難所等、正しい情報をつかむ。

デマに惑わされず、的確な行動を。

携帯ラジオ、懐中電灯を携帯。

9 二次災害を防ぐ！

避難する前にブレーカーのスイッチを切り、ガスの元栓を閉める。